

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 20 日

仕事の内容	道路補修事業			
担当部署・課長名	土木	課	土木	係 課長名 寺島 由紀夫

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4 - 4	-
【施策名】 道路・交通の整備	総合計画書 (ページ)	89	

予算名	款 8 土木費	項 2 道路橋りょう費	目 1 道路維持費	事業 4 道路補修事業費
-----	---------	-------------	-----------	--------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	沿線住民及び通行者	→市が管理する道路の総延長
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	補修が必要な箇所を実施することにより、沿線住民及び通行者が安心して通行できるよう市民の安全を確保する。	→補修件数
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	補修が必要な箇所及び市民からの要望箇所の補修工事の実施。	→補修件数

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	m	212,495	212,495	212,495	
	成果指標	②の数値	件	28	33	44	
	目標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	件	28	33	44	

3 経費	事業費(実績)	円	39,978,968	39,996,742	44,999,667	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源					
	一般財源	円	39,978,968	39,996,742	44,999,667	
	特定財源	円	0	0	0	
	(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)					
所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.4		
所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
職員人件費(再任用以外)	円	3,306,800	3,301,200	3,297,600		
職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費	円	43,285,768	43,297,942	48,297,267		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	開始時期：昭和40年代 開始理由：緊急工事に即対応できるようにするため。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
	環境変化：経年劣化及び上下水道等のライフラインの取り出しによる部分舗装(ツギハギ)が多くなってきている。

仕 事 の 内 容	道路補修事業			
担当部署・課長名	土木	課	土木	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	舗装の劣化及び舗装ツギハギが振動等の原因となり、舗装整備要望が増加している。	

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取組みは無い	取組手法
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容	
	経年劣化及び上下水道等のライフラインによる取り出し後の舗装ツギハギによる補修箇所増加や工事施工単価の上昇により、予算の範囲では補修が追いついていない。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。	
補正予算により補修増加や工事費増加に対して対応した。		
(3)(2)を踏まえた今後の課題		
労務単価の上昇により、当初想定工事量を実施できない。		

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	本事業の予算増額及び計画的な道路整備事業と連携。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の予算の増額 ・市内道路改良事業等による既設舗装の状況改善。 		
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費を増加させる。